

議会報告会報告書

開催日時	平成28年4月22日（金） 午後7時00分～8時30分	
開催場所	大津コミュニティセンター	
出席議員	代表者	板橋 衛
	報告者	鈴木真智子（予算）、井口一彦（総務）、伊関功滋（生環）、小室卓重（教福）、山本けんじゅ（都整）、西郷宗範（観光）、田辺昭人（まち、100条）
	記録者	鈴木真智子、小室卓重（パソコン操作：本石篤志）
参加人数	25 名	
報告内容	<p>（質問・回答）</p> <p>Q ジュニア野菜ソムリエとは、何か。 A 日本野菜ソムリエ協会の行う講座を受講して得られる野菜の専門家としての資格。「野菜ソムリエ」「ジュニア」「シニア」の3種がある。</p> <p>Q ESCO事業を市外事業者が行う理由は何か。 A 市内事業者を優先したが、実際には10年継続で維持管理できる事業者が市内に無かったため。工事については、7割を市内事業者に行ってもらっている。</p> <p>Q くりはま花の国に大型遊具が設置されるが、街区公園では、安全性が担保できないとの理由で遊具が撤去されてきた。花の国の遊具における安全管理の方策はどうか。 A 遊具の選定は、実績のあるメーカーのものから。運用上の安全管理は、ハーブ園の上に管理事務所があり、必要な時は職員がすぐに出せるよう促していく。</p> <p>Q ソレイユの丘にキャンプ場ができると、交通量が増え、地元には負担。食材調達などにおいて、地元には利益が出るようにしてはどうか。 A 指定管理者には長井水産が入っている。</p> <p>Q ESCO事業の目的は何か。 A 町内会負担の軽減である。</p> <p>Q 町内会費から電気代に支出される分を減らすことで町内会の負担軽減というが、コスト面だけでなく、意見をもっと聞いてほしい。 A 新規導入にあたっては、町内会の意見を聞きながら進める。</p> <p>Q 議会の仕組みなどを市民にもっと知ってもらうために、市民大学などで議長や議員が講師となることはできるか。 A 議会から市民への情報発信として、記者会見を行ってきた経緯はある。</p> <p>Q 市長と議会は水面下での動きはあるか。もしあるなら、そういったことも知りたい。 A 二元代表制としての市長と議会は、かつてはそのようなこともあったかもしれないが、議長としてオープンでありたいと考えている。</p> <p>Q 選挙で一人にしか投票できないのは悩ましい。複数人に投票はできないものか。 A お気持ちはうれしいが、一人一票は公職選挙法で決まっている。</p> <p>Q 熊本地震を受け、本市での災害対策の見直しを議会発で取り組むべきではないか。 A 東日本大震災後に防災体制特別委員会で審議、地域防災計画を改定した経緯があるが、あれから5年がたっており、あらためて審議が必要と思われる。</p> <p>Q 議員視察の報告書は、どのように使われているか。 A 委員会等で共有するなどしている。</p> <p>Q 市有地は市民の財産であるため、売却においては町内会を通して意見を求めるべきではないか。 A 未利用地の売却は財政のために議会も賛成するところであるが、市民の理解の下に行われるのは当然である。財政再建だけが優先されてまちづくりの視点が欠けるようではいけないとの議会の指摘に、売却方針を決めるとの市長答弁を得ている。</p> <p>（意見・要望等）</p>	

横須賀市議会議長 様

平成28年5月6日

上記のとおり報告します。

代表者 板橋 衛